

障害者生活支援センターたかまつだより

香西地区「香西にこにこ会」を紹介します

障害者生活支援センターたかまつでは、基幹センターとして地域の福祉ネットワーク会議に参加し、地域の活動や取り組みについて共有させていただいています。

「香西にこにこ会」では、香西地区にお住まいで、ごみ出し・庭の草抜き・家の周りの掃除でお困りの方に対し、地域の登録ボランティアの方が支援する活動を行っています。

利用できる方

- ・要支援1・2認定の方
- ・基本チェックリストで事業対象と認定された方
(利用申込はケアマネージャーと相談してください)
- ・香西地区にお住まいで、高齢者世帯・障害のある方・子育て等で作業が困難な方

利用料金

- ・1回60分以内、月5回まで
ごみ出し100円、庭の草抜き300円、家の周り掃除300円
- ・年会費 1世帯あたり300円(自治会加入世帯は無料)

利用日時

毎週月曜日～金曜日 午前8時～午後4時

申し込み先

香西にこにこ会コーディネーター 080-9839-6039

祝日を除いて、月～金の9時から16時まで受付します。お気軽にお問い合わせください。

利用者用

**生活支援助け合い
「香西にこにこ会」
(ご利用者用)**

香西地区でお住まいの方で、ごみ出し・庭の草抜き・家の周りの掃除等でお困りの方

利用料金(1回60分以内・月5回まで)

		
ごみ出し	庭の草抜き	家の周り掃除
100円	300円	300円

年会費 (1世帯当たり) 300円
(自治会加入世帯は無料)

利用日時 毎週 月曜日～金曜日
午前8時～午後4時

利用できる方々

- ※ 要支援1・2認定の方
- ※ 基本チェックリスト(厚労省の定める25項目)で事業対象と認定された方
(利用申込は担当ケアマネージャーと相談して下さい。)
- ☆ 高齢者世帯・障がいのある方・子育て等で作業が困難な方。

申込先 香西にこにこ会コーディネーター 080-9839-6039
お電話は、祝日を除いて、月～金の9時から16時まで受付します。(月4、3月まで)

お気軽にご利用ください!

令和4年度『障害者福祉タクシー助成制度』の申請が始まります

高松市では、障害がある方の移動を支える制度がいくつかあります。その中の一つが、今回ご紹介する『障害者福祉タクシー助成制度』です。タクシーの基本料金から1割引き後の金額を助成するサービスで、令和4年3月30日から、令和4年度分の申請が始まります。

★これまで助成を受けられていても毎年申請が必要なサービスです。

★利用の用途は問いません。通院、通勤、通学、余暇等で活用ができます。

★対象は身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方ですが、助成を受けるには一定の要件があります。

★18歳以上の方は、所得制限があります。

申請先は高松市役所障がい福祉課、各総合センター・支所(山田支所を除く)です。

また、申請には障害者手帳、印鑑、申請書が必要となります。

詳しくは高松市障がい福祉課(087-839-2333)までお問い合わせください。

研修会「聴くこと、知ること、気づくこと」を実施しました

今回、かがわ総合リハビリテーション病院の研修の講師として、支援センターたかまつにピアサポーターの登録をいただいている田村治仁さんを派遣し、病院の看護師やセラピストを対象にご講演いただきました。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、田村さんにはオンラインで自宅から参加していただきました。

「聴くこと、知ること、気づくこと」というテーマで、入院中または病院退院後に在宅に戻って困ったことなどについてお話ししていただいた内容をご紹介します。

田村さんは、19歳のときに事故に遭い、脊髄を損傷し両足の機能を失いました。入院当初はすぐ治ると思っていたけれど、1か月後に医師から「一生治らない、歩けるようにならない」と告知を受けました。しかし、田村さんは落ち込むことはなく、病院の外にあるバリアを、車椅子でどのように乗り越えていけばいいかなど、前向きに考えていったそうです。

入院中に、同じく脊髄損傷となった方を紹介され、その方の話を聞いて、自分にもできることがたくさんあるのではと思い、障害者スポーツと関わるようになりました。「統合型地域スポーツクラブ さらスポーツクラブ」の活動を開始され、現在は障害者スポーツを通して人権教育に協力する活動も行っています。

リハビリを経て病院を退院し、飲食店に入ったときのことです。お店の人に「混んでいる時間に車椅子の人が来ると邪魔になるのでやめてくれ」と言われたそうです。病院は色々な人や物で守られていますが、外に出ると嫌なこともあり、なぜ皆が障害のことを理解してくれないのかと感じたそうです。その10年後に長野県で冬季パラリンピックが開催され、そこから障害者の社会参加やバリアフリーが広がり、昨年東京パラリンピックのときは、色々な人が「手伝いましょうか」と声をかけてくれたそうです。

今回の講演で、みんなが話し合っ互いを理解することで助け合っていくことができる、最初は知らなくて怒られるかもしれないけどそれでもいい、ということをお教えいただきました。

また、田村さんの体験談を語っていただいた後、排泄の際に使う道具などもご紹介いただきました。当事者の方から感想を聞くことで、患者さんや利用者さんの気持ちを理解した上で介助する側が道具を使うことができる良いきっかけになったのではないかと思います。

支援センターたかまつでは、ピアサポーターさんに体験談を交えて話をしてもらう機会を設けております。ご希望のかたは、支援センターたかまつまでご連絡ください。

～あとかき～

お住まいの地域で、少しでも安心して過ごすことができるように、利用できるサービスや社会資源について、お伝えしていくことが出来ればと思います。身近に感じる困りごとや、あったら良いなと思うサービスについてのご意見など、支援センターたかまつまでご相談ください。

【お問い合わせ先】 障害者生活支援センター たかまつ

〒761-8057 香川県高松市田村町 1114 番地 かがわ総合リハビリテーション福祉センター内

電話 087-815-0330 / FAX 087-867-0420 / ホームページ <http://www.kagawa-reha.net/shogai-shien.html>

利用時間 月～金曜日、第1・3日曜日 午前9時～午後5時（第2・4金曜日は午後7時まで）

※年末年始（12月29日～1月3日）及び祝日を除く

